

K-system A

完全マニュアル

※ 注 意 ※

本誌は別紙の「導入・初期設定マニュアル」をご参照の上、
K-system A の導入・初期設定を完了した状態を前提に同システムの利用方法や、
パラメータ設定などの詳細を記載した内容となっております。

本誌を利用する前には必ず「導入・初期設定マニュアル」をご参照ください。

また、本マニュアルはパソコンでの操作画面を基に解説を行っております。
スマートフォン、タブレットで使用する際の画面とは表示が異なりますのでご注意ください。



--- 目次 ---

【序 章】「K-system A」の概要

■「K-system A」とは？	p.2
■各プラットフォームと「K-system A」の関係性	p.2

【第1章】「K-system A」と「Trading View」の機能解説

■Trading View の機能紹介	p.3
---------------------	-----

- ①全体のカラー変更
- ②表示足単位・単位変更
- ③インジケーター&ストラテジーの挿入
- ④表示チャート数とレイアウト・変更
- ⑤チャート設定
- ⑥「K-system A」の設定
- ⑦アラート編集・アラート履歴
- ⑧ストラテジーテスター

■K-system A の機能紹介	p.6
-------------------	-----

【各パラメータ解説】

エントリー条件	p.6
エグジット条件	p.7
利確損切ラインの解説	p.8

【第2章】「Trade Studio」の機能解説

■Trade Studio のメニュー・機能紹介	p.9
--------------------------	-----

取引状況	p.10
売買レポート	p.11
戦略ルーム	p.12
アラート履歴	p.13
スクリーニング	p.14
口座情報	p.15
会員情報	p.15
HELP	p.15

【第3章】実際のトレード手順の解説

■トレードを行うための事前チェック	p.16
■トレードを行う際のブラウザセッティング	p.16
■トレードを行うための手順	p.16

【手順1】投資金の設定と戦略の作成	p.17
【手順2】銘柄を選定	p.18
【手順3】選定した銘柄をチャートで確認	p.19
【手順4】パラメータを設定	p.20
【手順5】アラートを設定	p.22
【手順6】売買を開始	p.24
【手順7】経過・結果を確認	p.25

■アラートエラーメッセージ 一覧	p.26
------------------	------

【序章】「K-system A」の概要

■「K-system A」とは？

「K-system A」とは、世界最大級のチャート分析ツール「Trading View」を用いた取引シグナルを、証券会社の API(Application Programming Interface) 発注環境に結び付けて日本市場の個別株などを取引することを可能にした「Trade Studio」のシステムを利用した、自動売買ストラテジーです。

ご利用の際は必ず下記の Web アプリへの登録と、対応した証券口座の開設が必須となります。

- ・Trading View
- ・Trade Studio

(※登録方法などの詳細は別紙「導入・初期設定マニュアル」をご参照ください。)

■各プラットフォームと「K-system A」の関係性

「K-system A」を【Trading View】の株価チャートに挿入すると、設定されたパラメータに対応した「**売買アラート**」を表示、Webhook(※)を利用した配信をすることが可能となります。

この「**売買アラート**」を【Trade Studio】が受信し、【Trade Studio】内で設定しておいた投資金の振り分けに従い、証券会社に**売買**の注文発注を行います。

発注した注文を証券会社が受け取り、**売買**が約定したら、建玉情報などが【Trade Studio】に証券会社から配信され、管理することが可能となります。



また、本商品をご購入いただいた上で Trade Studio にユーザー登録された方は、Trade Studio の銘柄スクリーニング(銘柄検索)の全機能の使用権限が付与され、銘柄選びも同プラットフォームで行う事が可能となります。

次章からは K-system A のパラメータと、自動売買で使用する Trading View の機能説明となります。

※「Webhook」とは

Web アプリケーションでイベントが実行された際、外部サービスに HTTP で通知する仕組みです。本システムは Trading View に Trade Studio で指定した「WebhookURL」を設定することで、売買アラートの送受信を可能としています。

【第1章】「K-system A」と「Trading View」の機能解説

■ Trading View の機能紹介

「K-system A」を利用する際に使用する Trading View の機能を紹介します。



①全体のカラー変更

ここをクリックするとご自身のアカウントの設定変更や、Trading View 全体のカラーの変更もできます。Trading View 初期カラーは全体がホワイトカラーですが、「ダークカラーテーマ」をクリックすると、上図のように黒を基調とした画面になります。ホワイトカラーの画面だと各項目や利確ラインが見えにくい場合は、ダークカラーテーマへ変更してみましょう。

②表示足単位・単位変更

現在表示中のローソク足の期間が表示されています。ここをクリックすると、現在 Trading View でご参加のコースで使用可能な足の期間が選択できます。K-systemA では 1 秒～1 分で運用が可能です。

③インジケーター & ストラテジーの挿入

お気に入り登録した「K-system A」を株価チャートに挿入する際に使用します。その他ご自身で使用したいインジケーターなども挿入できますが、他のストラテジーを同時に使用する事は正常な取引の妨げとなる可能性があるためにお控えください。

④表示チャート数とレイアウト・変更

現在表示中の株価チャート数とレイアウトを表示します。ここをクリックすると現在 Trading View でご参加のコースで使用可能なレイアウト(*)が選択できます。自動売買で運用する際は、一度アラートを設定すると株価チャートを表示しないでも取引が行われるため、取組銘柄分のチャートを表示させなければならないわけではありませんので、ご自身が使いやすいレイアウトをお選びください。
(※ Pro:2 画面、Pro+:4 画面、Premium:8 画面)

⑤チャート設定

Trading View は海外発のチャート分析ツールの為、ローソク足の色が「上昇＝青、下降＝赤」となっており、日本の一般的な表記とは逆になっております。

ローソク足の色を気にされるようであれば、ここからシンボルを右図のように色を変更してください。

色は変更したい場所をクリックすると、ご自身の好きな色に変更が可能です。変更後は「OK」とクリックしてください。



⑥「K-system A」の設定

こちらから「K-system A」の各種設定や、アラート設定を行うことが出来ます。「K-system A」の文字をクリックすると、下記のアイコンが表示されます。



各アイコンの機能は以下の通りです。



=チャートに表記されている「K-system A」の各種サインの表示/非表示を切り替えられます。



=「K-system A」の各種パラメータを設定、変更できます。(※ 詳しくは P. 6に記載)



=「K-system A」をチャートから削除します。こちらを削除しても設定したアラートは消えません。



=主にアラートを設定する際に利用します。(※ アラート設定方法は P.22に記載)

また、初期状態では K-system A のパラメータ数値が表記されていますが、チャート上の「K-system A」の上で右クリックを押し、「インジケーターの引数を表示」「インジケーターの値を表示」のチェックを外すと、右図のように数値の表記が消えます。



⑦アラート編集・アラート履歴

アラートを設定したらこの場所に設定したアラートが表示されますが、各アラートの上で右クリックを行うと、アラートを削除したり、一時停止することが出来ます。

また、配信したアラートの履歴を「アラートログ」で確認することが出来ます。アラートの項目は  のマークをクリックすることで表示/非表示が可能です。

※ 注意 ※

銘柄保有時にアラートを削除・一時停止を行うと、銘柄を持ち続けてしまいます。

銘柄保有時にアラートを止めると、利確・損切のタイミングが来ても売買アラートが配信されない為、銘柄を持ち続けてしまい、思わぬ損失を生む可能性があります。

間違えて消してしまった場合は Trade Studio で銘柄を決済するか、すぐに同じ数値で再設定を行ってください。
(※再設定前に利確損切タイミングが来た場合も銘柄を持ち続けてしまいます。)

⑧ストラテジーテスター

Trading View では、実際の取引を行わなくても、「もし投資をしていたらどのくらい利益が出ていたか？」という仮想による運用での結果を見ることが出来る【テスト運用(バックテスト)】が可能です。

このテストを行う場合は 1 秒～1 分足でのチャート表示をご推奨します。

(※ 各銘柄の板状況などの影響により、実際の取引と若干ずれる場合があります。)



上図の取引で出た利益(銘柄購入金額に対する利益率)はトレード一覧の **こちら** に表示されます
上図では買い付け金額に対し、+0.97%の利益が出たことを示しています。

現物での取引の場合は、この利益から約定代金に応じた現物手数料の差し引き分をご自身でご計算ください。

ストラテジーテスターは実際の取引をしながらでも確認が出来ます。

株価チャート上で左クリックを押しながら右へカーソルを動かすと過去のチャートを閲覧することも可能なため、K-system A のエントリー開始日を過去に設定することで、株価チャートで表示可能な範囲内であれば過去のデータに遡って結果を表示することも可能です。

パラメータを変更することで、変更内容にもなった結果が表示されるため、過去の自分の取引を振り返り、「もし、違うパラメータで取引をしていたら、どのくらい損益が違っていたか？」というような検証をすることも可能となっております。

検証を繰り返し、ご自身の銘柄選定と投資スタイルに合ったパラメータを見つけ出す際にお役立てください。

■K-system A の機能紹介

前記にあったように、チャート左上の「K-system A」をクリックし、右側に表示されたアイコン一覧の中から、 (歯車)のアイコンを押すと「K-system A」のパラメータが表示されます。

各パラメータの数字を変更することで、パラメータ通りの投資を再現することが可能となります。
各機能は以下のようになります。

各パラメータ解説

【メモ】

現在の設定に対してのメモが自由に記入できます。
画面右のアラート一覧で、各アラートの上にカーソルを合わせると、このメモの内容を見ることが出来ます。

設定したアラートが他の設定のアラートと混同しないようにメモを書いておくと、後々アラートを削除・編集する際に他のアラートと間違ってしまうなどのミスの防止にもなります。

【手数料】

信用取引の際は「0」のままで結構です。
現物の場合は手数料の料金設定が約定金額によって分かれておりますが、近似値として 0.09 とご入力ください。

▽ エントリー条件 ▽

エントリーをする際の条件をここで入力します。条件を全て満たした時に成り行き注文の買い付けを行います。

【エントリー開始日】【エントリー開始(時・分)】

入力した日時以降にエントリーを行います。

【エントリー終了日】【エントリー終了(時・分)】

入力した日時を超えるとエントリーは行いません。

【エントリー価格下限】【エントリー価格上限】

下限に入力した株価から、上限に入力した株価までの間の株価でしかエントリーを行いません。

▼ エントリー条件入力例 ▼

エントリー開始日⇒【20200106】 エントリー開始(時・分)⇒【915】
エントリー終了日⇒【20200106】 エントリー終了(時・分)⇒【1005】
エントリー価格下限⇒【1000】 エントリー価格上限⇒【1010】

上記の場合は

2020年1月6日の9時15分から10時5分の間に、株価が1000から1010円の価格になったら成行エントリー注文を行います。

▼ エグジット条件 ▼

下記の機能の条件を一つでも満たした場合、その場で成行決済注文を行い、銘柄を手放します。

【強制決済発動日数(強制決済)】

銘柄の保有期間を指定します。(【1】=当日のみ保有、【2】=2日間保有、【3】・・・)
保有期間最終日の14時50分になると、含み損益の割合関係なく強制的に成行決済注文にて銘柄を手放します。
保有期間に限度はありませんが、最低保有期間は【1】(当日のみ)となります。

【損切値(ロスカット)】

保有している銘柄が、買い付けた価格より入力数値(%)以上下がった瞬間に成行決済注文にて銘柄を手放します。

【第一利確発動】【第一利確決済(1st 利確)】

【第二利確発動】【第二利確決済(2nd 利確)】

買い付け価格より「発動」に入力した数値(%)以上に株価が上昇したら、自動的に「利確決済」に入力した数値(%)の株価にラインを引き、そのラインを割り込んだら瞬間に成行決済注文を行います。

株価がある程度の%分上がったなら、指定の株価で逆指値注文が勝手に行われ、もし株価が下がっても指定の%分の利益を確保するイメージとお考え下さい、

【第三利確発動】【第三利確決済(3rd 利確)】

買い付け価格より「発動」に入力した数値(%)以上に株価が上昇したら、その後の最大含み益より「利確決済」分の%株価が下落したら、その瞬間に成行決済注文を行います。

第一第二は決済ラインが固定されますが、第三利確決済は発動後に株価が上がって最高値を更新し続けると、決済ラインも追隨して一緒に上がっていくことになります。

【最大利確決済(Max 利確)】

買い付け価格より入力した数値(%)以上に株価が上昇したら、その瞬間に成行決済注文を行います。

目標利益に到達したらその場で決済するというイメージでお考え下さい

(※ 現物取引の場合の利確・損切ラインは手数料分を加味した株価で決済注文を発注します。)

【トレードモード】

「リアルトレード／バックテスト」の切り替えスイッチです。投資金を入れて実際の取引を行う際は「リアルトレード」、仮想トレードを行う際は「バックテスト」を選択してください。

「リアルトレード」では、Trading View・Trade Studioのサーバー間のアラート送受信エラーによる取引への影響を防げるよう、決済アラートを3回送信します。(ローソク足毎。1分足では1分毎に送信)

バックテストでは決済アラートの送信は1回のみです。

■ 利確損切ラインの解説 ■

銘柄へのエントリーが行われると、パラメータに入力された数値に沿った利確・損切ラインが自動的に Trading View の株価チャートに表示されます。

「K-system A」は、一度アラートを設定してしまえばチャートを表示していなくても自動的に売買が行われますが、チャートを表示しておくことで、「視覚的にも何処で利確・損切が行われるのか」「何処で決済注文が発注されたのか」が分かります。

【例】 下記の設定の際に、2,572 円でエントリーした場合



黄色いライン=利確ライン

紫のライン=損切ライン

- ① 株価が買値から【0.5】%(2,585 円)を超えたので、【0.3】%(2,580 円)に利確ラインが引かれました。
- ② 利益が【2】%(2,623 円)を超えたので、【1】%(2,598 円)に利確ラインが上がりました。
- ③ 利益が【3】%(2,650 円)を超えたので、この後の最大含み益から【20】%下に利確ラインが追随します。
- ④ 利益が【6】%(2,727 円)に到達したので、成行決済注文を発注しました。
- ⑤ エントリー直後、損失が【1】%(2,547 円)の価格に損切ラインが引かれました。

チャート上には決済時にどの条件で決済が行われたかが、決済ポイントの上に表示されます。

もっとも、表記された「新規買い」「返済売り」はあくまで『注文が行われた』タイミングであるため、実際注文が約定する株価は、表記の価格と異なる場合があります。

「注文板が薄い」「出来高が少ない」「売買が過熱している」などの銘柄は注文発注時の株価と約定株価がかなり変わる場合があるので注意してください。

また、①～④の決済ポイントは①<②<③<④となるように設定してください。

上記の順番でなくとも決済は正常に行われますが、決済時の条件表記が異なってしまう場合があります。

【第2章】「Trade Studio」の機能解説

■Trade Studio のメニュー・機能紹介

「K-system A」を利用する際に使用する Trade Studio の機能を紹介します。

①メニューボタン

左のメニューを表示/非表示と切り替えることができます。

②ログアウトボタン

現在のアカウントでログインしている状態を解除し、ログイン画面に戻ります。

③ログインユーザー

現在ログインしているユーザーアカウント名を表示します。
アカウント名は商品ご購入時のお名前となっています。

④機能メニュー 一覧



Trade Studio で使用する機能のメニュー一覧です。各メニューの内容・用途は以下の通りとなります。

【取引状況】(詳細⇒P. 10)

本日の発注履歴やアラート履歴、現在保有中の銘柄を表示し、建玉情報の削除や保有中の銘柄の手動決済も行えます。

【売買レポート】(詳細⇒P. 11)

Trade Studio を利用した今までの総損益合計や、期間・戦略ごとの損益状況を確認することができます。

【戦略ルーム】(詳細⇒P. 12)

自動売買に利用する投資金の振り分けや銘柄の手動決済、K-system A に設定するアラートのメッセージと WebhookURL をコピーします。

K-system A を利用する際は基本的にこの画面をメインに利用します。

【アラート履歴】(詳細⇒P. 13)

Trading View から配信された売買アラートの直近 3 か月分の受信履歴の一覧が表示されます。
配信された売買アラートのエラーもこちらで確認ができます。

【スクリーニング】(詳細⇒P. 14)

入力した条件に合致する銘柄を全市場から検出する機能です。

多種多様な検索条件を独自に作成でき、その条件を保存しておくことが可能です。

【口座情報】(詳細⇒P. 15)

Trade Studio に紐づけを設定した証券会社の口座情報と、取引区分・口座種別を確認・変更できます。

【会員情報】(詳細⇒P. 15)

現在ログイン中のアカウントにご登録されているユーザー情報を表示・変更ができます。

【HELP】(詳細⇒P. 15)

Trade Studio をご利用するにあたりよくある質問と答え(Q&A)や、お問い合わせ窓口などが掲載されています。

■取引状況

本日の発注履歴やアラート履歴、現在保有中とされる銘柄の詳細を表示します。
建玉情報の削除や保有中の銘柄の手動決済も行えます。

2020年10月08日 取引状況

① アラート 1件 アラートエラー 0件
約定 1件 発注エラー 0件

現在の建玉

実売買	戦略名	操作	銘柄	数量	取引種別	建て日時	建値	現在値
有効	戦略01	決済 除外	6199:セラク	100株	買い	2020/10/08 09:28:48	1,944円	1,964円

● 現在値は1分間隔で更新されるためリアルタイムの株価と差異が生じる場合があります
● 表部分は横スクロールが可能です

本日のアラート

配信元	配信日時	戦略名	銘柄
TradingView	2020/10/08 09:28:48	戦略01	6199:セラク

● 表部分は横スクロールが可能です

本日の発注

状態	売買戦略名	銘柄	数量	取引種別	注文種別	発注日時
全約定	戦略01	6199:セラク	100株	新規	買い	2020/10/08 09:28:48

①20**年**月**日 取引状況

閲覧時当日のアラート・発注・約定状況の総数を表示しています。

②現在の建玉

現在保有中とされる銘柄の情報が表示されます。

(※注意 現在値は1分間隔更新なので、リアルタイムの株価と差異がある場合があります。)

【操作】

「決済」ボタン:現在保有中の銘柄を、Trading View の売買アラートを待たずに、その場で決済します。

「除外」ボタン:表示されている建玉情報を削除します。

保有銘柄を Trade Studio を使わずに証券会社で直接決済した場合、決済情報が Trade Studio に配信されない為、現在の建玉情報が残ったままになってしまいます。
この残ってしまった建玉情報は「除外」を押すことで削除可能です。

③本日のアラート

本日 Trading View から受信したアラートの詳細を表示します。

受信アラートの注文が何らかの原因で通らなかった場合は  と赤字でエラーの理由が記載されます。

④本日の注文

本日証券会社に発注した注文履歴の一覧が表示されます。

■ 売買レポート

Trade Studio を利用した今までの総損益合計や、期間・戦略ごとの損益状況を確認することができます。損益結果はプラスの場合は緑色で表記されます。

売買レポート

① 戦略名 決済日時 年/月/日 年/月/日

② 損益合計 +1,600円

③

戦略名	銘柄	数量	取引種別	建日時	決済日時	建値	決済値	損益
戦略01	セラク	100	買い	2020/10/08 09:28:48	2020/10/08 10:11:11	1,944円	1,954円	+1,000円
戦略04	ダントーホールディングス	100	買い	2020/10/05 09:31:38	2020/10/05 10:06:43	725円	729円	+400円
戦略04	K L a b	100	買い	2020/10/02 09:19:12	2020/10/02 09:22:56	964円	963円	-100円
戦略04	スクロール	100	買い	2020/09/29 09:11:50	2020/09/29 09:19:52	902円	905円	+300円
戦略04	K L a b	100	買い	2020/09/25 09:25:03	2020/09/25 09:34:08	920円	920円	0円

④

● 損益合計額には現物手数料ならびに信用取引の金利は含まれておりません
● 表部分は横スクロールが可能です

① レポート検索条件

戦略や検索期間を入力し検索ボタンを押すことで、検索結果を変更・絞り込むことができます。条件入力前の初期状態では、過去の全取引の総損益合計と全取引結果が表示されます。

② 損益合計

条件入力前の初期状態では、過去の全取引の総損益合計と全取引結果が表示されます。レポート検索条件を絞り込んだ場合は、その条件下での取引損益合計が表示されます。

③ 個別売買レポート

銘柄ごとの売買レポートの詳細が表示されます。

(※全ての損益計算には現物手数料ならびに信用取引の金利は含まれておりません。
正確な損益状況を確認する場合は証券会社のホームページよりご確認ください。)

■ ④ 自動更新スイッチ

売買レポートは開くたびに最新情報に更新されます。

こちらを[有効]にすると、ページを開いたままでも数分単位で自動的に情報が更新されるようになります。

■戦略ルーム

自動売買に利用する投資金の振り分けや、銘柄の手動決済、K-system A に設定するアラートのメッセージと WebhookURL をコピーするなどを行うことができます。

ご自身が Trade Studio で使用する投資金合計の中から、登録した戦略ごとに投資金を振り分け、各戦略に Trading View からのアラートが来たら、振り分けられた投資金内で可能な限りの株数をエントリーします。

実売買	名前	操作	投資金	建玉情報	アラート	TradingView用コピー項目
ON	戦略0.1	編集 削除	投資金 30万円	注文 除外 6199: セラク	履歴	● webhookURL ● アラートメッセージ
OFF	戦略0.2	編集 削除	投資金 50万円		履歴	● webhookURL ● アラートメッセージ
OFF	戦略0.3	編集 削除	投資金 50万円		履歴	● webhookURL ● アラートメッセージ
OFF	戦略0.4	編集 削除	投資金 50万円		履歴	● webhookURL ● アラートメッセージ

①戦略ルームレポート

現在の戦略ルームの現状を表記しています。

【有効戦略 ○/○件】 売買を有効にしている戦略数 / 現在登録している戦略数。

【取組中銘柄○銘柄】 全戦略で現在保有している銘柄の総数。

【投資金 ○○万円】 現在売買を有効にしている戦略の設定投資金の合計。

【上限 ○○○万円】 Trade Studio で利用する投資金上限。(※数値を変更した場合は[更新]をクリック。)

②戦略リスト

登録した戦略の情報や編集、手動決済、Trading View 用に入力するための項目のコピーなどが行えます。

【実売買】 登録した戦略を稼働させるかどうかの ON/OFF スイッチです。
Trading View から売買アラートを受信してもこちらが[ON]になっていないと売買は行われません。
また、投資金の上限を超える場合は[ON]に出来ません。

【名前】 登録した戦略の名前です。
「どんな銘柄か？ K-system A はどのような設定か？」など、その戦略で受信するアラートの種類などを、ご自身が一目でわかりやすく分類できるような名前にしましょう。

【操作】 登録した戦略の内容を変更、削除することができます。

【投資金】 その戦略で受信した売買アラートに従いエントリーする際の「買い付け金額上限」です。
入力金額で購入できるだけの株数を発注します。
もし複数銘柄のアラートを受信するように設定し、先にエントリーした銘柄があった場合、そのあまりの投資金で買えるだけの株数を買い付けます。

例: 投資金 200 万の場合⇒120 万円の銘柄 100 株、30 万の銘柄 200 株(計 180 万円分)

- 【建玉情報】 現在その戦略で保有中とされる銘柄が表示されます。
「取引状況」のページと同じく、[決済]ボタンで手動決済も行えます。
- 【アラート】 各戦略に Trading View から配信された売買アラートの履歴を閲覧できます。
- 【コピー項目】 指定した戦略に「K-system A」の売買アラートを配信するために使用する項目をコピーできます。
コピーしたい項目をクリックするとコピーの準備が完了し、その状態で Trading View のアラート設定の任意の場所にコピーした項目を張り付けることが出来ます。(詳しくは P.22に記載)

③「新規戦略」登録ボタン

新しく戦略を登録する場合にはこちらのボタンをクリックしてください。
登録時は実売買が「OFF」の状態しか選べませんが、登録後に一覧の ON/OFF スイッチで切りかえられます。

■アラート履歴

Trading View から配信された売買アラートの直近 3 か月分の受信履歴の一覧が表示されます。
配信された売買アラートのエラーもこちらで確認が出来ます。

配信元	配信日時	戦略名	銘柄	データ
TradingView	2020/09/25 09:34:07	300~1000円銘柄	3656 : K L a b	["ticker":"3656","comment":"1 st 利確返済 売
TradingView	2020/09/25 09:25:02	300~1000円銘柄	3656 : K L a b	["ticker":"3656","comment":"1stリ-新規買 い","alert_message":"kssystem01","strategy
TradingView	2020/09/25 09:23:59	300~1000円銘柄	3656 : K L a b ▲返済対象のポジションがなかったため注文しませんでした。	["ticker":"3656","comment":"1 st 利確返済 売
TradingView	2020/09/25 09:20:04	300~1000円銘柄	3656 : K L a b ▲投資資金をもとに計算された注文数値が0のため注文しませんでした。(投資資金:120000、投資資金残:27700.0、1単元必要額:106100.0)	["ticker":"3656","comment":"1stリ-新規買 い","alert_message":"kssystem01","strategy

①履歴検索条件

全アラートだけではなく、各戦略ごとに配信期間を入力し、検索ボタンを押すことで、任意の条件下の
売買アラート履歴が表示できます。
何も入力しない状態では、全ての売買アラート履歴が表示されています。

②各アラート履歴詳細

各アラートの詳細が表示されます。

【配信元】【配信日時】【戦略名】 各データの詳細が表示されます。

【銘柄】 アラートが配信された銘柄を表示します。
売買注文の発注が行われなかった場合は、その理由が赤字で表記されます。

【データ】 「新規買い」「返済売り」などの売買アラートの発注データです。

■スクリーニング(銘柄検索)

入力した条件に合致する銘柄を全市場からスクリーニング(検索)する機能です。
多種多様な検索条件を独自に作成でき、その条件を保存しておくことが可能です。

行削除	項目	詳細	演算子	入力値①	入力値②
削除	現在値	当日	範囲内	1000 円	2000 円
削除	価格率(%)	10日平均	>	3 %	
削除	トレンドサイン	1:1上昇最終	=		

コード	銘柄名	現在値 当日	価格率 10日平均	1:1上昇最終
1380	秋川牧園	1,274	8.15	1
1433	ベステラ	1,241	4.43	1

①保存条件一覧

保存したスクリーニング条件の一覧です。
条件名をクリックすると下記の条件設定が保存した条件に変更され、[×]をクリックすると条件を削除できます。
(※ こちらで設定を変更すると、現在表示中の検索結果が削除されます)

②スクリーニング(検索)条件設定

銘柄を検索する際の条件を入力します。

【行削除】 指定した条件の行を削除します。新しい検索条件を足したい場合は[行追加]を押します。

【項目】 条件の項目を選択します。各項目の解説は③から確認できます。
項目の左隣の↑ ↓ボタンで、項目を上下に移動することが出来ます。

【詳細】 項目の詳細を選択します。各詳細の解説は③から確認できます。

【演算子】 項目・詳細に対する入力値の検索条件を入力します。各演算子の説明は以下の通りです。

[>]超える [<]未満 [>=]以上 [<=]以下 [=]同じ [≠]以外
[範囲内]入力値①～②の間 [表示]条件を絞らずに表示だけする

【入力値①②】 演算子に対する値を入力します。

項目、演算子によっては入力値が一つの場合や、必要ない場合があります。

③検索条件ガイド

条件の項目についての詳細や、その条件によってどのような銘柄が検出されるかなどの解説が掲載されているガイドページへのリンクです。

④条件保存ボタン

現在②で表示されているスクリーニング条件を、名前を付けて保存することが出来ます。
(※ 検索結果は保存できません。)

⑤条件をクリア

現在表示されている条件設定を全列削除します。(※ ①に保存してある条件は削除されません。)

⑥スクリーニング実行ボタン

現在表示中の条件設定に当てはまる銘柄を全市場から検出します。

⑦個別株以外も表示

こちらにチェックを入れると「ETF・ETN」などの個別株以外も結果に表示されます。

⑧銘柄スクリーニング結果

検出された銘柄を表示します。

結果の各項目の右側にある[◆]のマークを押すと各項目の昇順・降順で並べ替えられます。

※注意※

本スクリーニングは Trading View によるチャート表記を採用している為、直近取引の無い日がある銘柄は、証券会社で表示される移動平均線とのずれが生じる場合があります。

■口座情報

本日の Trade Studio で銘柄を売買する際に利用する口座情報の登録・変更や API の設定を行います。ご自身の利用したい取引区分・口座種別をお選びいただき、API 設定を行ってください。

信用口座・特定口座などを利用する際は、必ず先に証券会社での利用手続きを行ってください。

(証券会社との API 接続に関しては、別紙「導入・初期設定マニュアル」をご参照ください。)

■会員情報

現在ログイン中のアカウントにご登録されているユーザー情報を表示します。

こちらでは【ログイン ID】【パスワード】【メールアドレス】の 3 項目をご自身で変更できます。

※こちらの情報は Trade Studio 専用のもので、Trade Studio 上でご変更されたとしても、ご購入された販売店や、ご利用中の証券会社にご登録されているお客様情報には変更は反映されません。

■HELP

Trade Studio をご利用するにあたりよくある質問と答え(Q&A)や、お問い合わせ窓口などが掲載されています。

【第3章】実際のトレード手順の解説

ここでは、実際に K-system A を利用したトレードを行うための手順を、順を追って解説していきます。

■トレードを行うための事前チェック

まずはトレードを行う前に、下記のチェック項目が全て完了していることを確認してください。

- ✓ 証券口座に投資金を入金している。
- ✓ 「口座情報」に、今回利用する取引区分(現物/信用)・口座種別が設定してある。
- ✓ 「口座情報」に入力した証券口座を開設している。
- ✓ 証券会社と Trade Studio の「API 接続」を行っている。(期限が近くない、期限切れではない)

特に気を付けなければいけないのが、証券会社との「API 接続」が期限切れで接続切れている場合です。au カブコム証券では一回の接続手続きでの最長接続期間が 180 日となっています。

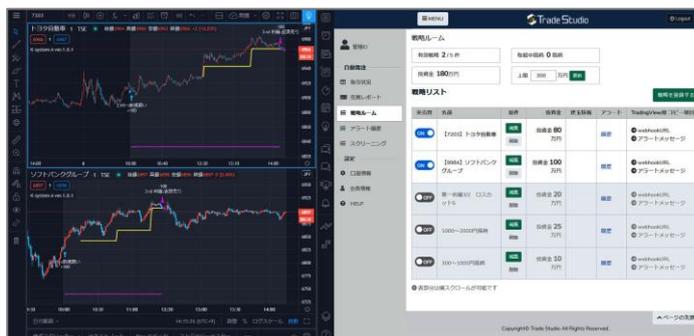
銘柄保有中に API 接続期限を超えると、Trade Studio からの発注が出来ないため、銘柄を保有し続けて思わぬ損失が生じる恐れがあります。

3 月に 1 回程度のペースで API 接続期間の最大延長を、お使いの証券口座で行う事をご推奨します。(詳しくは「導入・初期設定マニュアル」をご参照ください。)

■トレードを行う際のブラウザセッティング

最終的には Trading View と Trade Studio の二つのプラットフォームを行き来した作業を行うため、ブラウザを 2 つ立ち上げて左右に並べて作業を行うことをお勧めします。

手順②の銘柄スクリーニングの場合は Trade Studio の画面を広く用いますので、その時だけはブラウザ右上の最大化を行うと良いかもしれません。



■トレードを行うための手順

「K-system A」を使ってご投資をする際は、一般的には下記の手順を行います。

【手順】

- 【1】「Trade Studio」 投資金の設定と戦略の作成 ----- (詳細⇒P. 17)
- 【2】「Trade Studio」 銘柄を選定 ----- (詳細⇒P. 18)
- 【3】「Trading View」 選定した銘柄をチャートで確認 ----- (詳細⇒P. 19)
- 【4】「Trading View」 パラメータを設定 ----- (詳細⇒P. 20)
- 【5】「Trading View」 アラートを設定 ----- (詳細⇒P. 22)
- 【6】「Trade Studio」 売買を開始 ----- (詳細⇒P. 24)
- 【7】「Trade Studio」 経過・結果を確認 ----- (詳細⇒P. 25)

上記手順には、一度設定すると毎回変更する必要が無い項目も含まれます。

投資金の設定を固定される方や、毎回スクリーニングによる選定をする必要のない方など、ご自身に必要なと思われる手順は飛ばしていただいて結構です。

【手順1】投資金の設定と戦略の作成

【Trade Studio】のメニューから「戦略ルーム」開き、投資金と戦略の設定を行います。

①投資金上限の設定

「戦略ルーム」上段の「上限 万円」の部分に自動売買全体での取引に用いる、最大投資金を入力し、**更新** ボタンを押してください。

戦略ルーム

有効戦略 2 / 5 件

取組中銘柄 0 銘柄

投資金 180万円

上限 300 万円 **更新**

入力する投資金は必ず投資余力を超えないように注意してください。

また、信用取引の場合は余剰資金の 3.33 倍の資金を運用できますが、追証の可能性等も鑑みて、当システムでの信用取引には余剰資金 2.5 倍以下の設定で抑えることをご推奨しています。

尚、お使いの口座の保証金が 30 万円以下となりますと信用取引をご利用することが出来なくなりますのでご注意ください。

このマニュアルでは仮に投資金上限を 300 万と設定して進めていきます。

②戦略リストの作成

「戦略」とは、現在使える投資金を、どの銘柄にどれだけ振り分けるかを設定するための「枠」のようなものです。

例えば 100 万円の戦略を作成し、その戦略に投資したい銘柄を紐づけることで、その戦略では 100 万円の資金で買えるだけの株数を買って付ける注文を出します。

この戦略をいくつか作成しておき、後ほど「今回エントリーを狙う銘柄」を、各戦略に紐づけていきます。

戦略リストの右側にある「戦略を登録する」を押すと「Trading View アラート受信戦略の登録」の画面に移ります。

名称、投資金は後で変更可能です。

投資金は上限内の金額を適当に入力し、名前も「戦略01」と言ったように仮につけていくつか作成しておきましょう。

TradingView アラート受信戦略の登録

アラート配信元 **選択**

Trading View

アラート受信用 webhookURL **設定**

自動的に作成されます

名称 **設定**

投資金 **設定**

万円 ※設定中の上限 300万円

実売買 **設定**

無効 (アラート受信だけで実売買は行いません)

有効 (アラート受信だけでなく実売買を有効にできます)

登録する

戦略リスト

実売買	名前	操作	投資金	株玉情報	アラート	TradingView用 コピー項目
<input type="radio"/> OFF	戦略01	編集 削除	投資金 50 万円		無効	webhookURL アラートメッセージ
<input type="radio"/> OFF	戦略02	編集 削除	投資金 50 万円		無効	webhookURL アラートメッセージ
<input type="radio"/> OFF	戦略03	編集 削除	投資金 50 万円		無効	webhookURL アラートメッセージ
<input type="radio"/> OFF	戦略04	編集 削除	投資金 50 万円		無効	webhookURL アラートメッセージ

このマニュアルでは仮に投資金を各 80 万とした戦略を4つほど作成し、各戦略名を「戦略01～04」とします。

仮戦略を作成したら、次は銘柄を選定します。

【手順2】銘柄を選定

仮戦略を作成しましたら、次は銘柄を選定します。

(※ 既に投資したい銘柄を決めている方や、他の方法で銘柄を選出したい方は【手順3】へお進みください。)

①投資したい銘柄の条件を入力

色々な条件を組み合わせることで、ご自身の思い描く株価推移をした銘柄を検出することが可能です。

下記の例をご参考にしながら、ご自身が投資したい銘柄の特徴を入力していきましょう。

(※ 場中(平日 9-15 時)に「当日」を選択すると、朝 9 時より現在時間までの間の数値を参考にします。)

【条件設定例】	項目	詳細	演算子	入力値①	入力値②
商いが大きい	出来高	10 日平均	>	1000000	
高ボラティリティ	値幅率	5 日平均	>	5	
急騰中	移動平均線 昇降率	25MA	>	5	
	移動平均線 乖離率	25MA	>	8	
	場中騰落率	当日	>=	0	
上昇トレンド	トレンドサイン	1:上昇最終	=		
	移動平均線 昇降率	25MA	>	3	
	移動平均線 昇降率	75MA	>	2	
調整からの反発	移動平均線 昇降率	25MA	>	5	
	移動平均線 乖離率	25MA	範囲内	0	5
下げ止まり	値幅率	前日	>	10	
	場中騰落率	前日	<	-5	
	値幅率	当日	>	5	
	場中騰落率	当日	>	0	

(※ 上表は参考例です。狙い通りの銘柄が検出されない場合もありますので、必ず株価チャートで確認してください。
また、上表条件で検出された銘柄の売買を推奨するものではありません。)

入力した条件での銘柄検索を何度も行いたい場合は **条件の保存** ボタンで、条件を保存しておきましょう。
保存した条件は下記のように条件設定の上に表示され、クリックすることでいつでも呼び出すことが可能です。



ご自身のお気に入りの検索条件をいくつも保存し、より銘柄選定の精度を高めていきましょう。

②設定した条件でスクリーニングを実行し、結果を表示する

条件を入力し **設定した条件でスクリーニングを実行** をクリックすると、画面が下にスクロールして検索結果が表示されます。

条件が緩い場合は銘柄が多く表示されるため、条件を足すなどして更に絞り込むと良いでしょう。
逆に条件が厳しすぎたりすると銘柄数が少なかったり、条件に合う銘柄が 0 件の場合もあります。

また、「現在値 当日 < 1」のような絶対にありえない条件では検索結果が 0 件になります。

【手順3】選定した銘柄をチャートで確認

銘柄が決まったら、Trading View のローソク足チャートにその銘柄を表示させてみましょう。

① Trading View で銘柄を表示する

Trading View のチャート画面(<https://jp.tradingview.com/chart/>)を開き、銘柄を表示させます。先ほど選んだ銘柄を表示させます。

表示させたいチャートをクリックすると外枠が青色になるので、その状態で銘柄コードの部分をクリックします。

すると、「シンボル検索」の入力画面が表示されますので、虫眼鏡マークの右側に4桁の証券コード、または銘柄名を打ち込んでください。

すると、入力欄の下に証券コードと銘柄名が表示され、そちらをクリックすることで株価チャートが入力した銘柄に切り替わります。



別の方法として、Trade Studio のスクリーニング結果から直接株価チャートに移る事も出来ます。

スクリーニング実行後の検索結果に表示された銘柄の「証券コード」をクリックすると、Trading View の銘柄詳細ページが表示されます。

そのグラフチャート右上の **フル機能チャート** からその銘柄のローソク足チャートを表示できます。



② 日足チャートで銘柄を確認

表示を日足に変えて、自分の検索条件に合った株価推移の銘柄かどうか確認してみましょう。
(※スクリーニングによる銘柄選びを行わない方は【手順4】へお進みください。)

銘柄コードの隣をクリックすることでローソク足の時間変更が出来ます。

[1日]を選び、日足チャートを表示しましょう。

日足チャートでの移動平均線は以下の通りです。

- 赤線 = 5日線
- 青線 = 25日線
- 緑線 = 75日線

銘柄が決定したら、ローソク足を[1分]に変更してください。



【手順4】パラメータを設定

銘柄が決定したら「K-system A」のパラメータを設定します。

チャート左上の「K-system A」をクリックし、のアイコンからパラメータを入力していきましょう。

パラメータ入力の際の数字は必ず半角英数で入力してください。

全角で入力すると、そのパラメータは作動しなくなり、思わぬ損失を生む可能性があります。

(※「メモ」の入力は全角、日本語で入力できます。)

①各パラメータ設定の参考基準

【手数料】

信用取引では「0」現物取引を利用するときのみ「0.09」とご入力ください。

(※参照 2020年10月現在 auカブコム証券による現物取引手数料計算)

【エントリー開始日時・終了日時】

エントリーをしたい期間を入力します。

初期段階では終了日が2099年設定となっているので、エントリーしたい価格帯に入るまで実質ずっと待ち続けますが、エントリータイミングをその日だけにしたい場合は開始日と終了日を同日にしてください。寄付きのイレギュラーな動きを避けたい場合は、エントリー開始時間を9時10分以降などにしましょう。

【エントリー価格下限・上限】

下記の基準を参考に設定数値をお考え下さい。

◎高値掴みを避けたい ⇒ 「上限:前日最高値～前日終値」

(※デメリット=窓を開けて上昇すると、エントリーできません。)

◎安値で拾いたい ⇒ 「下限:直下の移動平均線、前日最安値」

(※デメリット=そのまま下値を割り込む可能性があります。)

エントリー開始日時に値がついていたら絶対にエントリー注文を発注したい場合は、初期値の「下限:0」「上限:9999999」から変更する必要はありません。

【強制決済発動日数】

基本的にはご自身の取り組みたい期間をご自由にご入力ください。

もっとも、下記のような株価推移に大きな影響を与えるイベントを跨ぐと、予想外の損失を生む可能性があるのでご注意ください。

※ 注意すべきイベント例 ※

個別株:「決算日」「権利落ち日」「株式分割・併合施行日」など

市場 :「衆参議員選挙」「米大統領選挙」「連邦公開市場委員会(FOMC)」「メジャーSQ」など

【損切値】

この値を小さすぎる設定にすると、少しの下落で決済し、その後の上昇を取り逃すこともあるので、リスク・リターンを鑑み、下記の基準などを参考に設定数値をお考え下さい。

※ 注目すべき参考値例 ※

「直近数日間の最安値」「直下移動平均線」「前日最安値」「過去、反発している価格帯」など

【利確発動・決済】

1日で利確を狙う際は、過去10日の平均値幅以上の数値を設定すると、平均以上の値幅を見せる動きが無いと利確出来ないので気を付けましょう。
また、発動と決済の値が近すぎると、発動してから1円下がっただけでも決済注文が出ることがあります。

株価500円以下の中小型株を取り組む際に、第一利確決済の数値を0.5%以下にすると、注文発注と約定のズレにより、実際の売買は若干の損切で約定することがあるので注意しましょう。
株価が小さい場合は決済値幅を広く、株価が大きい場合は狭く設定することを心がけてみてください。

②「メモ」に設定の詳細を書いておく

パラメータ最上部のメモの項目には日本語入力が可能となっています。

ここには紐づける戦略名など、設定したパラメータがどういうものなのかを入力しておく、あとで設定を確認する際や、アラートの確認の際に役に立つことがあります。
また、どういう設定をしたのかなどを書き込むためのメモとして活用しても良いかもしれません。

【設定メモ入力例】

「500円以下設定」	=利確値設定が500円以下の銘柄用の設定。
「金曜まで取組」	=強制決済発動日数を金曜日になる様に設定している。
「強気設定」	=利確決済値、損切値を共に大きく設定している。
「下値25日線」	=25日移動平均線を割ったら損切の設定している。

■ ひとつことアドバイス ■

戦略別や設定別に「K-system A」を複数保存してみましょう。

インジケーターのお気に入りの「K-system A」を何度もクリックすることで、株価チャートに「K-system A」を複数入れることが出来ます。(※ Trading View の参加コースによって上限が変わります。Pro:5 Pro+:10 Premium:25)

いくつかの「K-system A」によく使用する設定を入力しておいたり、戦略別の設定を各々に入力しておくことで、「入力ミス」や「無駄な手間の省略」を図ることが出来ます。

- ◎上から戦略ルームに合わせた設定。
- ◎株価別の利確損切設定。
- ◎デイトレード・中期投資などの取組期間別設定。

など、ご自身のスタイルに合った使い方で活用してみてください。

基本的には Trade Studio の戦略ルームに対応する形で、上からパラメータを設定していく利用法が一般的です。

各パラメータのメモに「戦略 01」「戦略 02」など、戦略名を付けておくと、対応する戦略が分かりやすくなり、入力間違いの軽減も図れるでしょう。

現在表示中の株価チャートを見る際に利用するもの以外は、K-system A 横の瞳のマークをクリックし  としておくことで、各「K-system A」の表示の際の干渉を無くすことが出来ます。(※ もし複数表示をしても注文表示がおかしくなるだけで、実際のアラートの動作、売買発注への影響はありません。)



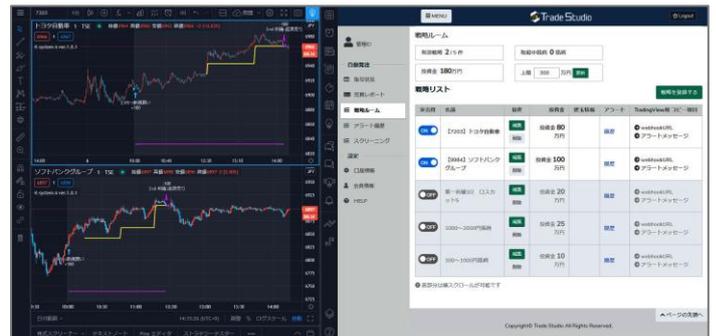
【手順5】アラートを設定

Trading View で K-system A が表示した売買サインを、「売買アラート」として Trade Studio の各戦略に配信するための「アラート設定」を行います。

この設定をしていないと、いくら K-system A を動かしても、実際の売買注文は出来ないのをご注意ください。

①「戦略ルーム」と Trading View を並べて表示する

アラート設定・実際の運用をする際は Trade Studio と「戦略ルーム」を行き来する作業を行うため、パソコンのデスクトップに両プラットフォームを右図のように並べておくのが良いでしょう。



並べての作業の方が楽なだけでなく、もちろん並べて表示しなくとも設定は可能です。

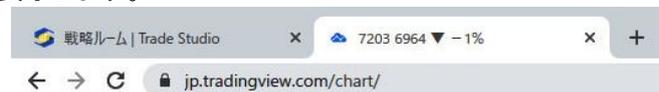
スマートフォンやタブレットでの操作の場合など、物理的に並べての表示が不可能な環境でも問題ありません。

ウィンドウを分ける方法は、下記のとおりです。

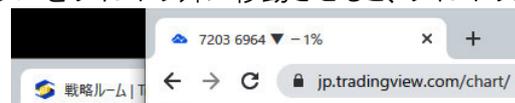
- 1、ウィンドウ上部のタブの横の[+]を押して新規にタブを開きます。



- 2、新規タブに、隣に置きたいプラットフォームを表示します。



- 3、新規タブの上で左クリックを押しながら、カーソルをウィンドウ外に移動させると、ウィンドウが分けられます。



②アラート追加画面を表示する

パラメータを設定した K-system A をクリックし、表示されるアイコンの右端の[●●●]をクリックし、「K-system A ver.1.0.1 にアラートを追加」を選択します。

(※ ver 以下の数値は、お使いのバージョンによって異なる場合があります。)



すると K-system A のアラート設定画面が表示されます。

③アラートを設定する

アラート設定ウインドウの各項目を設定します。下記の青字の項目を設定してください。全て完了したら「作成」を押しましょう。

【1】選択中の銘柄コード ローソク足種

現在設定中のチャートの情報が表示されるので、必ず銘柄・足種に間違いがないか確認してください。

【2】条件

現在設定しているストラテジーを表示しています。

【3】有効期限

アラートの有効期限は必ず取組期間以上になる様に入力してください。Premium の場合はなるべく「無期限」を選択しましょう。

【4】アラートアクション

「WebhookURL」にチェックを入れてください

【5】WebhookURL

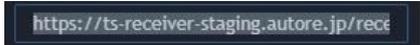
「戦略」から「WebhookURL」をコピーしてこちらに張り付けます。

Trade Studio の戦略リストの右端の列にある「Trading View 用 コピー項目」から、「WebhookURL」をクリックし、「WebhookURL コピー!」と言う状態します。



そのまま「アラート設定」のウインドウに戻り、【5】の欄をクリックし、キーボードの「ctrl」キーを押しながら「V」キーを押すと、【5】の欄に「https」から始まる URL が挿入されます。(右クリックで「貼り付け」でも可。)

もしこの欄にすでに webhookURL が挿入されている場合は、キーボードの「ctrl」キーを押しながら「A」キーを押し、全てを選択した状態にしてから「ctrl」+「V」を押して WebHookURL を張り付けてください。

(※ 「すべてを選択」した状態 ⇒ )

【6】アラート名

設定したアラートに名前を付けられます。

特に設定しなくてもアラートは機能しますが、「K-system A」のパラメータにあるメモ同様、対応する戦略名や銘柄、パラメータの内容などを入力しておくると他のアラートや戦略との見分けが付けやすくなります。

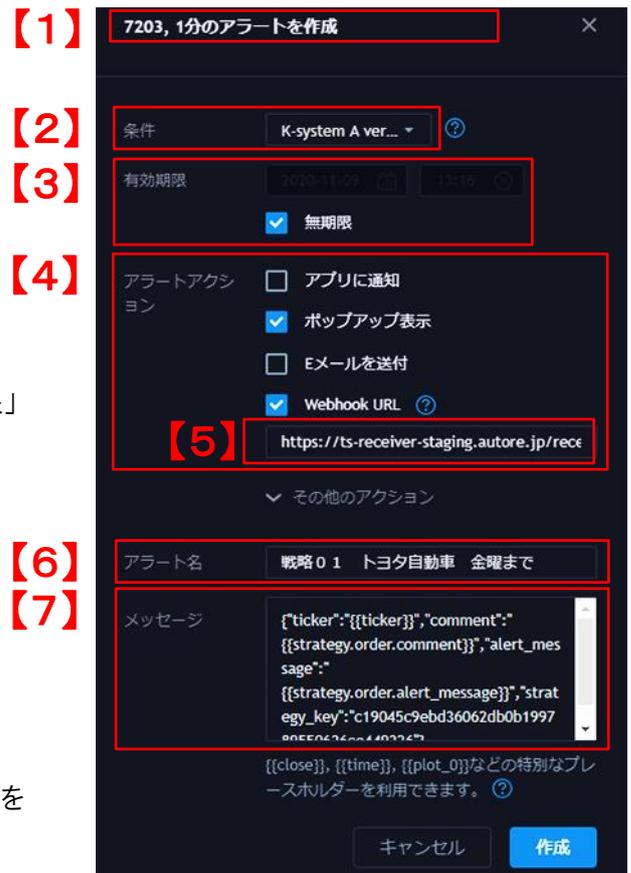
【7】メッセージ

「戦略」から「アラートメッセージ」をコピーしてこちらに張り付けます。

「WebhookURL」の時と同様、「Trading View 用 コピー項目」から、「アラートメッセージ」をクリックし、「アラートメッセージ コピー!」と言う状態にします。

【7】のメッセージ欄をクリックし、「ctrl」+「A」を押して今入っているメッセージ全体を選択した状態で、更に「ctrl」+「V」を押して、アラートメッセージを張り付けてください。

※ スマートフォン、タブレットでの Trading View 用 コピー項目の貼り付けは、キーボードが使えないので、手動でメッセージを全て削除(または「すべてを選択」)して、張り付け(ペースト)してください。



【手順6】売買を開始

先ほど適当に振り分けた投資金の設定を、これから取り組む銘柄に合わせて設定しなおします。

今回は「【7203】トヨタ自動車」を取り組むと仮定して進めていきます。

通常、株価チャート右側に表示されている数字が現在価格となっており、この場合のトヨタ自動車の現在価格は「6,917 円」となります。



しかし、Trade Studio の発注方法は全て成り行き注文の為、注文したい銘柄のストップ高価格(制限値幅上限)まで買える投資金を設定する必要があります。

現在価格ギリギリ購入できる設定ではなくストップ高価格を想定し、余裕のある投資金設定を「Trade Studio」の戦略にしていきたいと思います。

戦略ルーム

有効戦略 1 / 4 件 取組中銘柄 0 銘柄

投資金 100万円 上限 300 万円 更新

アラート受信戦略を編集しました

戦略リスト 戦略を登録する

実売買	名前	操作	投資金	建玉情報	アラート	TradingView用 コピー項目
<input checked="" type="checkbox"/>	戦略 0 1	<input type="button" value="編集"/>	投資金 100万円		履歴	webhookURL アラートメッセージ

[編集]から投資金を変更したら、実売買を「オン」にします。

実売買がオンになった戦略は、その戦略の「Trading View コピー項目」を張り付けた売買アラートサインを受け取った瞬間に、設定した投資金で可能なだけの株数を発注します。

もう一度おさらいすると、銘柄を自動売買にて注文する際の必要条件は以下の通りとなります。

- 【1】Trading View エントリーしたい銘柄を表示。
- 【2】エントリー条件を K-system A のパラメータに入力し OK。
- 【3】アラート設定を開き、戦略から「WebhookURL」「アラートメッセージ」をコピー & 貼付して、作成。
- 【4】現在値を確認し、戦略の投資金を設定したら「実売買」を「ON」にする。

あとは、K-system A に設定したエントリー条件を満たしたら「新規買い注文」が行われ、エグジット条件が満たされたら「返済売り注文」が自動的に発注されます。

【手順7】経過・結果を確認

自動売買を動かしている際の現在状況と、売買終了後の結果は、確認したい内容によって表示される場所が変わります。

■プラットフォーム、メニュー別の取引経過・結果表示

各プラットフォーム、ルームで確認できる取引経過・結果の内容は以下の通りとなります。

【Trading View】	・株価チャート上でのエントリー・決済サイン ・利確・損切ライン
【戦略ルーム】	・現在保有中銘柄
【取引 状況】	・現在保有中銘柄の含み損益状況(※毎 1 分更新) ・「本日」の Trading View から受信した売買アラートとエラー表示 ・「本日」の証券会社に発注した注文内容
【売買レポート】	・現在までの「全体/戦略別」取引での損益状況
【アラート履歴】	・過去 3 か月分の Trading View から受信した売買アラートとエラー表示

■アラートエラーについて

Trading View からの売買アラートを各戦略が受け取った際に、その注文を拒否する場合があります。

その拒否されたアラートは「取引状況」「アラート履歴」にて、このマークと共に赤字で「アラートエラー」として表示されます。

(※ アラートエラーの一覧と原因は次ページに記載。)



アラートエラーメッセージ 一覧

エラー文言	原因・補足
アラートメッセージの形式が正しくなかったため注文しませんでした。	アラートメッセージの貼り付けミスなどで発生。
戦略パスワードが一致しなかったため注文しませんでした。	アラートメッセージの貼り付けミスなどで発生。
ストラテジーを購入されていない、または有効期間が切れているため注文しませんでした。	何らかの理由でストラテジーの利用権限がなくなった場合。
戦略の実売買が無効のため注文しませんでした。	実売買が「OFF」になっている。
指定された銘柄が存在しないため注文しませんでした。	東証にて売買できる銘柄ではない場合。
証券口座が設定されていないため注文しませんでした。	「口座情報」で証券会社との API 接続が行われていない場合。
現物口座指定での「新規売り」のため注文しませんでした。	現物口座設定で「新規空売り」注文アラートを受信した場合。
現物口座指定での「返済買い」のため注文しませんでした。	現物口座設定で「返済買い」注文アラートを受信した場合。
指定された銘柄の信用「新規買い」注文はできません。	信用規制などで、信用口座による信用取引が出来ない場合。
指定された銘柄の信用「新規売り」注文はできません。	信用規制などで、信用口座による信用取引が出来ない場合。
投資資金をもとに計算された注文数量が 0 のため注文しませんでした。	戦略に設定した投資金では資金不足で最低単元も購入できない場合。
返済対象のポジションがなかったため注文しませんでした。	既に返済された銘柄だが、画面上に返済リンクが残っている場合などで発生。
証券口座と返済対象ポジションのカテゴリ(現物、または信用)が異なるため注文しませんでした。	保有中の銘柄を購入時の取引口座と別の口座で決済注文した場合。
時間外のため注文しませんでした。	営業日の場中(9 時～14 時 59 分 59 秒)以外の注文の場合。
注文サーバとの接続処理に失敗しました。	Trade Studio 内部のシステムエラー。
指定されたポジションがシステム上になかったため注文しませんでした。	既に返済されたが、画面上に返済リンクが残っている場合などで発生。
指定されたポジションの返済可能数量が 0 のため注文しませんでした。	既に返済されたが、画面上に返済リンクが残っている場合などで発生。
指定された戦略が存在しなかったため注文しませんでした。	既に戦略は削除されたが、画面上に返済リンクが残っている場合などで発生。
許可されていない IP アドレスからリクエストを受信しました。	Trade Studio 以外の外部からの不正アクセス。

※ 注 意 ※

・本商品は「Trade Studio・Trading View」をプラットフォームとしたストラテジーです。ご利用の際は「Trade Studio・Trading View」が利用可能な証券会社での口座開設が必須となります。また、本商品はお客様の Trading View のアカウントごとに、ストラテジー使用権限を付与させていただき、お客様のアカウントから弊社のアカウントが作成したストラテジーへのお気に入り登録をしていただく必要がございます。

◆ 注意事項 ◆

実際の株式投資の売買におきましては、自己資金等を十分考慮した上、ご自身の判断・責任のもとご利用下さい。本商品に無料付与されるノートパソコンはあくまでサービスであり、その品質、操作性能、利益向上を保証するものではなく、故障、トラブルについても一切の責任を負いかねます。

本商品のご利用において行われる取引、その他の行為、及びその結果について、収益性が 100%向上するものではありません。

銘柄によっては信用取引(制度・一般)が行えない場合もある事を、予めご了承下さい。

また、本商品のご利用にて被った如何なる損害についても一切の責任を負いかねます。

[投資に係るリスクおよび手数料について]

国内上場有価証券等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)、または元本を超過する損失を生ずるおそれ(元本超過損リスク)があります。

[免責事項]

ホームページ及びメール上、または本商品上での提供情報は著作権法によって保護されており、株式会社ナレッジクリエイション(以下「当社」)に無断で転用、複製 又は販売等を行う事を固く禁じます。提供情報は、当社の情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。

ホームページ及びメール上、並びに本商品上での提供情報はあくまでも情報の提供であり、売買指示ではございません。

実際の取引(投資)商品の売買におきましては、自己資金等を十分考慮した上、ご自身の判断・責任のもとご利用下さい。弊社は、提供情報の内容については万全を期しておりますが、提供情報の内容に基づいて行われる取引、その他の行為、及びその結果について、これを保証するものではありません。

また、この情報に基づいて被った如何なる損害についても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

商号:株式会社 ナレッジクリエイション

住所:〒338-0002 埼玉県さいたま市中央区大字下落合 1083-3-508

メールアドレス:support@knowledge-creation.com